

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第5週の発生動向

全数報告の感染症 (5週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核 8例。3類感染症：報告なし。4類感染症：報告なし。
- 5類感染症：侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例。侵襲性肺炎球菌感染症 3例。

疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類 結核	宮崎市	40歳代	男	肺結核腫	症状なし
		60歳代	男	肺結核	咳、発熱
		70歳代	男	無症状病原体保有者	—
		80歳代	女	無症状病原体保有者	—
	都城	80歳代	女	無症状病原体保有者	—
		30歳代	女	無症状病原体保有者	—
		30歳代	男	無症状病原体保有者	—
		90歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱
5類 侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	0~4歳	女	—	菌血症 ワクチン接種歴なし
		0~4歳	女	—	菌血症 ワクチン接種歴なし
	宮崎市	60歳代	男	—	頭痛、発熱、全身倦怠感、意識障害、菌血症、関節炎、腰痛 ワクチン接種歴不明
		60歳代	男	—	頭痛、発熱、意識障害、壊死性筋膜炎 ワクチン接種歴なし

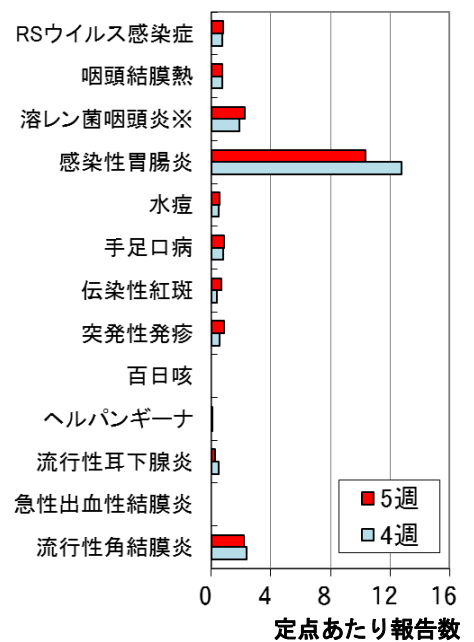
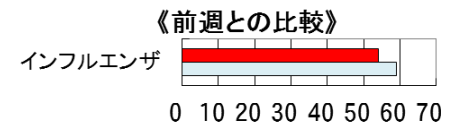
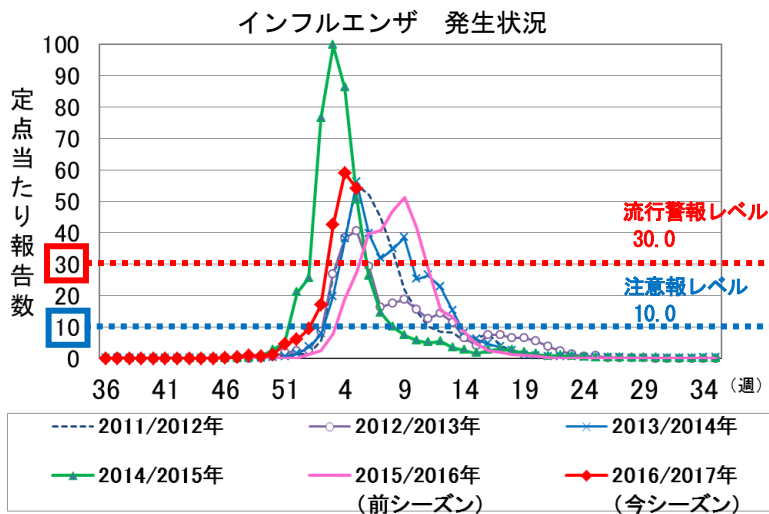
定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は3,829人(定点当たり74.1)で、前週比92%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と伝染性紅斑で、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

報告数は3,187人(54.0)で、前週比91%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(42.5)の約1.3倍であった。延岡(85.0)、宮崎市(57.4)、小林(53.8)保健所からの報告が多く、年齢別は5~9歳が全体の約3割を占めた。

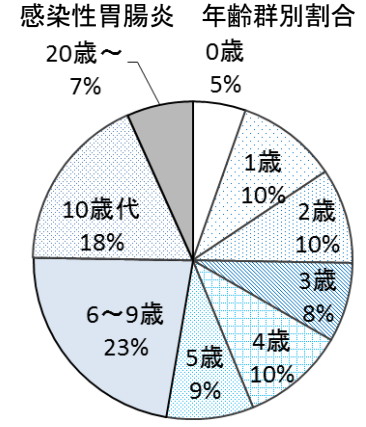
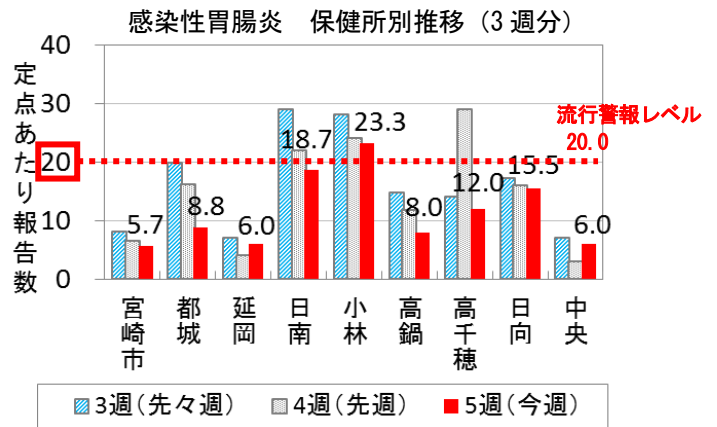
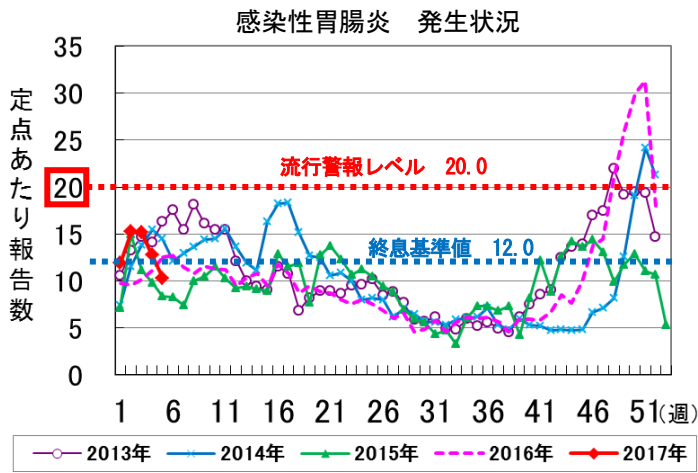


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

【感染性胃腸炎】

報告数は372人(10.3)で、前週比81%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(13.0)の約0.8倍であった。小林(23.3)、日南(18.7)、日向(15.5)保健所からの報告が多く、年齢別は別グラフに示す。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：

宮崎市保健所から2例報告があった。0～4歳であった。

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：延岡保健所から1例報告があった。

0～4歳で、病原体の群別は不明であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(57.4)
都城	インフルエンザ(51.9)
延岡	インフルエンザ(85.0)
日南	インフルエンザ(37.2)、咽頭結膜熱(4.3)
小林	インフルエンザ(53.8)、感染性胃腸炎(23.3)
高鍋	インフルエンザ(46.5)
高千穂	インフルエンザ(34.5)
日向	インフルエンザ(42.0)
中央	インフルエンザ(49.5)

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・インフルエンザ(30.0)
- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)

📌 全国 2017 年第 4 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 4 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	292 例				
3類感染症	細菌性赤痢	6 例	腸管出血性大腸菌感染症	15 例		
4類感染症	E型肝炎	5 例	A型肝炎	3 例	つつが虫病	5 例
	デング熱	3 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	10 例
5類感染症	アメーバ赤痢	16 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	17 例
	急性脳炎	15 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例
	後天性免疫不全症候群	17 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	47 例	水痘 (入院例)	3 例
	梅毒	68 例	播種性クリプトコックス症	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 124%と増加した。前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎と手足口病であった。

インフルエンザの報告数は 195,501 人 (39.4) で前週比 138%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (29.4) の約 1.3 倍であった。宮崎県 (59.1)、福岡県 (55.1)、愛知県 (54.7) からの報告が多く、年齢別では 5～9 歳が全体の約 3 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2017年 第5週(1月30日～2月5日)

疾病名		第4週	第5週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	3486	3187	919	519	595	186	269	279	69	252	99
	定点あたり	59.08	54.02	57.44	51.90	85.00	37.20	53.80	46.50	34.50	42.00	49.50
RSウイルス 感染症	報告数	27	29	15	5	2			2			5
	定点あたり	0.75	0.81	1.50	0.83	0.50	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	5.00
咽頭結膜熱	報告数	26	27	6	2	5	13		1			
	定点あたり	0.72	0.75	0.60	0.33	1.25	4.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	69	81	29	2	8	15	9	11	2	2	3
	定点あたり	1.92	2.25	2.90	0.33	2.00	5.00	3.00	2.75	2.00	0.50	3.00
感染性胃腸炎	報告数	459	372	57	53	24	56	70	32	12	62	6
	定点あたり	12.75	10.33	5.70	8.83	6.00	18.67	23.33	8.00	12.00	15.50	6.00
水痘	報告数	18	20	4	2	1			11		1	1
	定点あたり	0.50	0.56	0.40	0.33	0.25	0.00	0.00	2.75	0.00	0.25	1.00
手足口病	報告数	29	32	10	14	2		2	1		2	1
	定点あたり	0.81	0.89	1.00	2.33	0.50	0.00	0.67	0.25	0.00	0.50	1.00
伝染性紅斑	報告数	14	24	6	1	7	3		2		5	
	定点あたり	0.39	0.67	0.60	0.17	1.75	1.00	0.00	0.50	0.00	1.25	0.00
突発性発しん	報告数	21	32	9	6	4	1	3	3	1	3	2
	定点あたり	0.58	0.89	0.90	1.00	1.00	0.33	1.00	0.75	1.00	0.75	2.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	1		1							
	定点あたり	0.06	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	18	10	2	1	2			2		3	
	定点あたり	0.50	0.28	0.20	0.17	0.50	0.00	0.00	0.50	0.00	0.75	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	12	11	11								
	定点あたり	2.40	2.20	5.50	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	1	2	2								
	定点あたり	0.14	0.29	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	2	1			1						
	定点あたり	0.29	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:5、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～5週)

2類感染症	結核	25例(8)		
4類感染症	E型肝炎	1例	つつが虫病	5例
5類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例(1)	侵襲性肺炎球菌感染症	6例(3)
			梅毒	1例

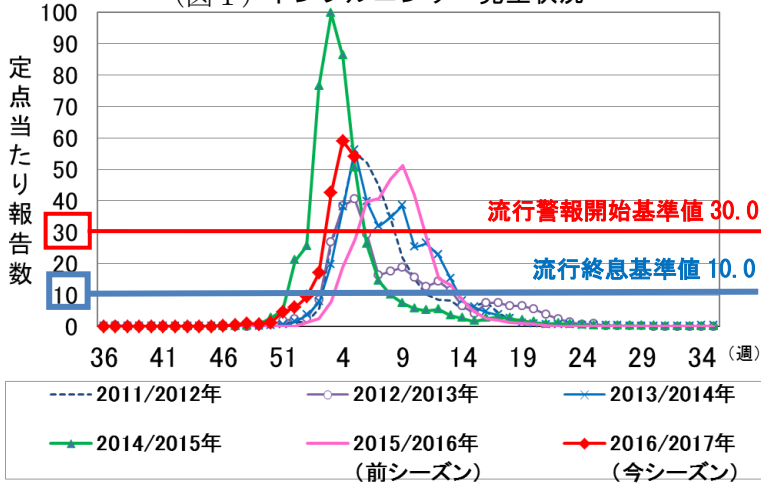
()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報 《県内第5週、全国第4週（再掲）》

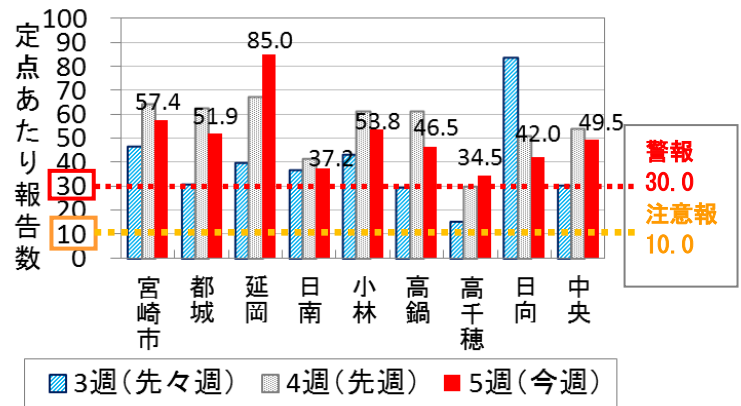
□ 県内第5週インフルエンザ発生動向

2017年1月30日～2月5日までの1週間で3,187人（定点あたり54.0）の報告があった。前週の約0.9倍と減少し、例年同時期の定点あたり平均値*(42.5)の約1.3倍であった（図1）。保健所別推移を図2に示す。年齢群別では5歳未満が全体の22%、5-9歳が28%、10-14歳が22%、15-19歳が6%、20-59歳が16%、60歳以上が6%を占めた。（図3）

（図1）インフルエンザ発生状況



（図2）インフルエンザ保健所別推移(3週分)

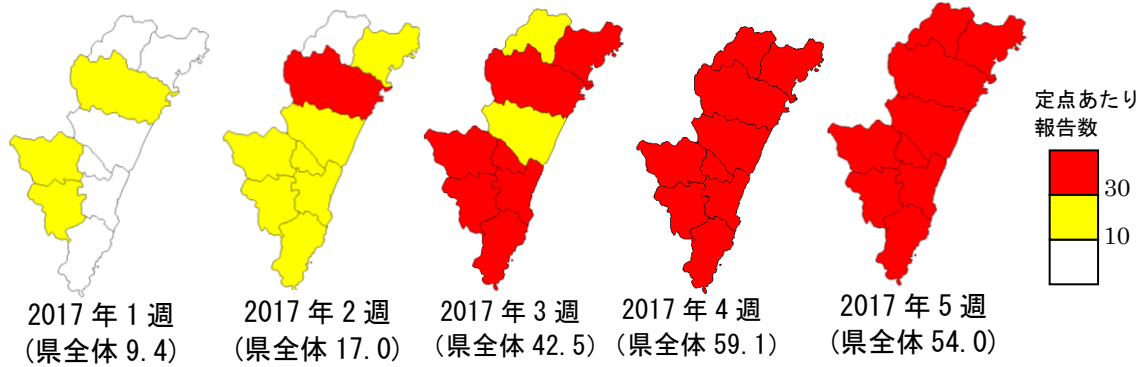


（図3）年齢群別割合の推移(2017年第1週～第5週)

週数	1週	2週	3週	4週	5週
5歳未満	18%	21%	19%	19%	22%
5～9歳	14%	21%	28%	31%	28%
10～14歳	12%	15%	25%	24%	22%
15～19歳	10%	11%	9%	8%	6%
20～59歳	37%	24%	14%	13%	16%
60歳以上	9%	8%	5%	5%	6%

□ 5歳未満 □ 5～9歳 □ 10～14歳 □ 15～19歳 □ 20～59歳 □ 60歳以上

保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2017年第1週～第5週



□ 全国第4週インフルエンザ発生動向

2017年1月23日～1月29日までの1週間で195,501人(39.4)で前週比138%と増加した。宮崎県(59.1)、福岡県(55.1)、愛知県(54.7)からの報告が多い。年齢群別では5歳未満が全体の17%、5-9歳が29%、10-14歳が21%、15-19歳が7%、20-59歳が19%、60歳以上が7%であった。